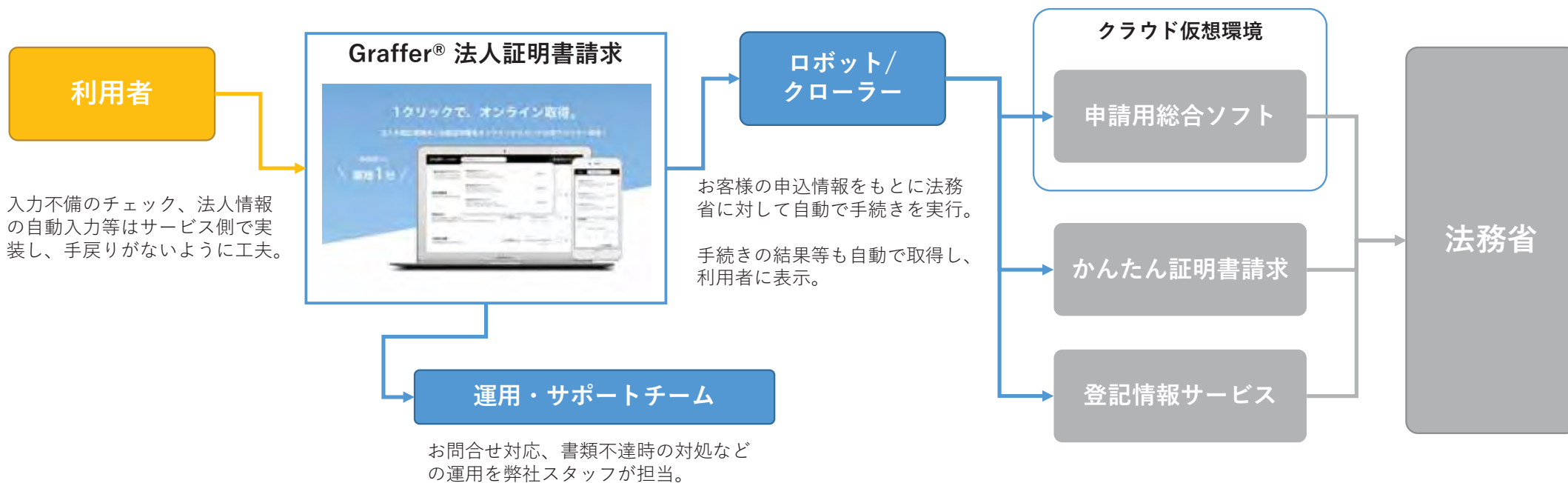


技術的な実現手段

- 「かんたん証明書請求」「登記情報サービス」などのウェブサイトについては、ロボットが自動操作
- 印鑑証明書については、「申請用総合ソフト」などのソフトウェアを、クラウド上に構築した仮想デスクトップ環境上で自動操作。
- 利用者はこれらロボットの存在をまったく意識せず、使いやすいUIでサービスを利用できる。
- 論理的には、こうしたクラウド仮想環境を使えば、大半の登記手続きを当社にてオンライン化できる。

サービス提供の概要図



法務系サービスにおける課題

- 印鑑届出書の問題
 - 印鑑カードの作成が必要な場合、常に書面の送付が求められる。
 - 本店移転時や設立時など、**電子申請を行った上で別途書類の郵送もしなければならぬため明らかな二度手間**である。
 - 印鑑の問題をどう解消するかが、登記関連の手続きのデジタル化の最重要論点と感じられる。
- 電子証明書の発行手数料
 - 商業登記の電子証明書は、最安でも月600円以上の手数料がかかる。
 - 印鑑カードは無料でもらえる & 登記時に必須で作成するのに、電子証明書が有料でオプションなのは合理性があるとは言えない。
 - 手続きのオンライン化を促進するため、**電子証明書の発行を義務付け、同時にこれを無料化**すれば普及は確実。
- 法務系のAPI開放
 - 当社は、法務省が提供するAPIがなくても自社なりの技術開発でサービスを提供している。
 - しかしAPIが開放されればさらに使いやすい製品を提供でき、利用者側の手続きコストを確実に削減できる。

参考：商業登記電子証明書の発行手数料

証明期間	3か月	6か月	9か月	12か月	15か月	18か月	21か月	24か月	27か月
発行手数料	2,500円	4,300円	6,100円	7,900円	9,700円	11,500円	13,300円	15,100円	16,900円

Graffer®手続きガイド - ライフイベント関連の手続きをスマートフォンで

質問に答えていくだけで、結婚・出産・引越しなどにかかわる手続きを簡単にリストアップ可能。

自治体とは公式連携し、手続きの場所や持ち物、地域ごとの独自制度についての情報を提供。

手続きのToDo管理、手続き書類の作成機能などを順次投入している。

鎌倉市「転居手続きガイド」

手続きの前提についての質問

転居の手続きに関連して、以下のうち該当するものをすべて選択し、「次へ」を押してください。

- ☐ 世帯に障害者の方がいる
- ☐ 世帯に65歳以上の方や、介護を受けられている方がいる
- ☒ 世帯に養育中の子どもがいる
- ☒ 国民健康保険に加入している方がいる
- ☐ 自動車やバイクをお持ちの方がいる

上記を選択して次へ

はじめからやり直す

本サービスは現在、試験運用中です。
担当部署 / お問い合わせ先
鎌倉市 行政経営課 行政経営課 行政経営担当
鎌倉市御成町16-10 本庁舎2階
Tel : 0467-23-3000
Mail : qvooukaku@city.kamakura.kanagawa.jp

質問に答えて

転居 手続きガイド

必要なアクション:

6件

鎌倉市役所本庁舎 での手続き

1階12番窓口(保険年金課)

- 小児医療費助成申請証の住所変更

1階36番窓口(市民課)

➤ 転居届
※届出のやり直しあり

- マイナンバーカードの住所変更
- 国民健康保険証の住所変更

1階42番窓口(こども相談課)

- 児童手当の住所変更届

三 鎌倉市役所本庁舎への手続き

在学中の学校 での手続き

転居先の学校 で手続きができます。

必要な手続きを確認

出生の手続き
2 / 5 件が完了

そのほかに必要な手続き

- ☒ 母子健康手帳への出生証明
- ☐ 子ども医療費助成の申請
- ☒ 出生届
- ☐ 児童手当の受給申請(認定請求)
- ☐ 保育所・保育園の入園相談・入園申込

ToDo管理や

特に必要な内容

■死亡の証明が必要な方の氏名
 出生または結婚から死亡までの証明が必要の方

■証明が必要な方の関係

■住所の履歴

■その他

< 前の項目へ 次の項目へ >

手続き書類作成も

Graffer 手続きガイド

3自治体で導入決定済 / さらに導入拡大予定

鎌倉市での運用ページをご覧ください

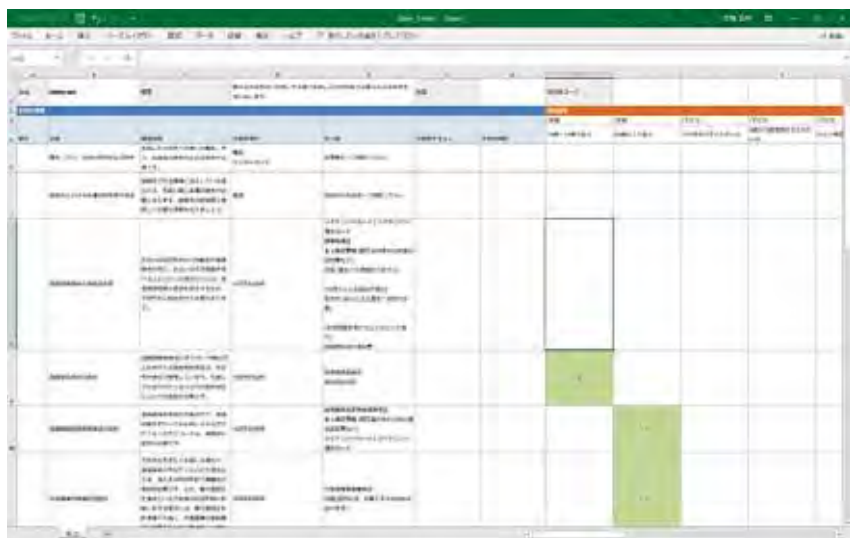
<https://ttzk.graffer.jp/city-kamakura>

エクセルシート1枚でコンテンツを管理可能

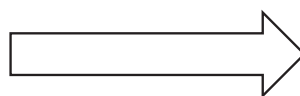
手続きガイドを作成するために必要なのは、エクセルのシートのみ。

高価で複雑な専用システムを導入する必要はなく、エクセルファイルの作成・レビューさえすれば、すぐにガイドを公開可能。

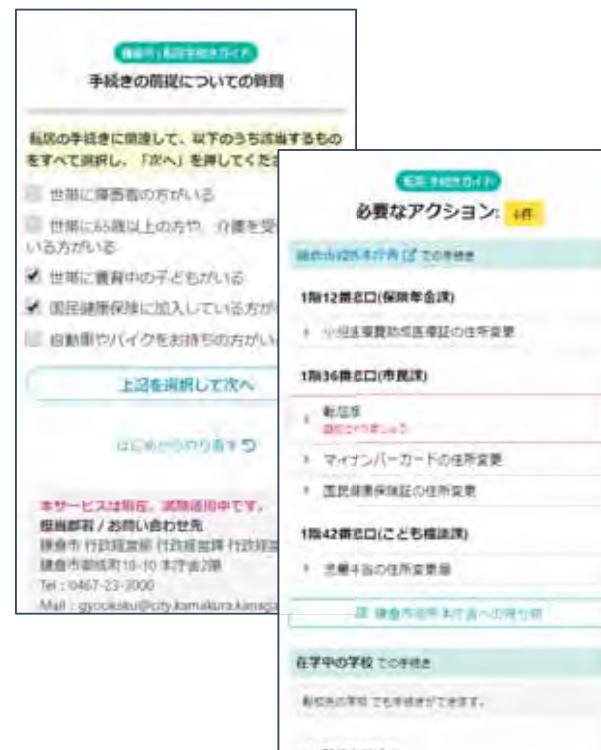
すべての自治体に共通のシステムを使うことで、コストを抑えつつ高い品質を実現。



項目	内容	備考
1	世帯に障害者の方がいる	
2	世帯に65歳以上の方や、介護を受けている方がいる	
3	世帯に養育中の子どもがいる	
4	国民健康保険に加入している方がいる	
5	自動車やバイクをお持ちの方がいる	



アップロードするだけで
即座に公開できる



必要なアクション

- 1階12番窓口(保険年金課)
- 1階36番窓口(市見課)
- 1階42番窓口(子ども健康課)

お問い合わせ先
鎌倉市 行政総務課 行政総務課 行政総務課
鎌倉市 行政総務課 行政総務課 行政総務課
Tel: 0467-23-3000
Mail: gyocho@city.kamakura.kanagawa.jp

Graffer® フォーム

PDFの書式さえあれば、かんたんにウェブフォーム形式に変換できるエンジンを開発。

手続きに必要な申請書や届出書をスマートフォンから簡単に作成できる。

数百の書式があっても、数営業目でフォーム化が可能。専用のシステムにXMLファイルを入稿するような手間は一切不要。

福岡市転入届

届出人氏名
井原 真吾

連絡先電話番号
000-0000-0000

新世帯主
井原 真吾

新住所
福岡市〇〇区〇〇町, . .

PDF作成する

※登録用紙は、年々変更がなされて、提出してください。

※登録用紙は、年々変更がなされて、提出してください。

住民票異動届書

（おて先） 福岡市 区 区民

届出事項

1. 市外への転入 2. 市外への転出
3. 区間移動 4. 世帯主変更
5. 地区間の転入 6. 世帯合併・分離
7. 戸籍の転籍

届出者の氏名（本人又は世帯主）

井原 真吾

届出日 平成 年 月 日

届出場所 福岡市○○区○○町・・・

届出者の住所（転入届を提出してください）

住所

氏名

世帯主変更（この欄は世帯主変更の場合にのみ記入してください）

氏名 旧住所 新住所

1. 氏名 旧住所 新住所

2. 氏名 旧住所 新住所

3. 氏名 旧住所 新住所

4. 氏名 旧住所 新住所

世帯主変更

氏名 旧住所 新住所

1. 氏名 旧住所 新住所

2. 氏名 旧住所 新住所

3. 氏名 旧住所 新住所

4. 氏名 旧住所 新住所

新住所

旧住所

世帯主

井原 真吾

世帯主

井原 真吾

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

Graffer® 窓口印刷

自治体等での手続き書類の作成を安全かつ効率的に行える独自サービス。

利用者が必要事項を記入すると、書類印刷用のQRコードが発行され、窓口の専用端末にかざすと書類がその場で印刷される。

QRコードには個人情報が入め込まれるが、窓口端末でのみ復号化できるよう暗号化可能。ネット上に一切個人情報を持たない仕組み。

基本情報をスマホ等で入力

「Graffer窓口印刷」事前入力

「Graffer窓口印刷」は、窓所に氏名、住所などの基本情報を入力しておくことで、市役所での書類への記入の手間を削減するサービスです。

以下のフォームに入力し、発行されるQRコードを、鎌倉市役所に設置された専用端末にかざすと、入力した情報が印刷された手続き書類が印刷されます。

複数の書類に提出が必要な場合でも、住所などの基本的な情報を何度も手入力する必要はありません。

※なお、入力された個人情報はサーバー上で保存されます。QRコードに暗号化されていますので、ご安心ください。

申込する方の氏名・生年月日・性別

氏名

氏名(カナ)

生年月日

申込する方の連絡先情報

暗号化されたQRコードを取得



窓口の端末にコードをかざし書類印刷



QRコードの内容は、窓口を設置した端末でのみ復号化できるよう暗号化することが可能。
インターネット上に個人情報を保管することなく、安全に手続き書類の作成・印刷機能を実現できる。

【組み合わせた事例】手続きガイド＋フォーム＋窓口印刷

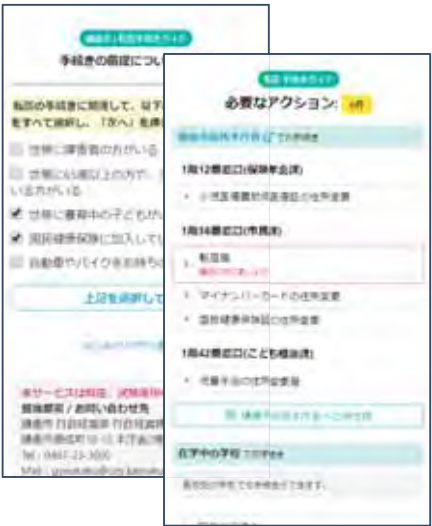
質問に答えていくだけで必要な手続きがわかる「手続きガイド」を起点に、手続きのタスク管理や通知機能を提供。
さらに、手続き書類をウェブ/LINEアプリから作成し、QRコードを使って窓口で印刷する新しい「行政連携」モデルを構築。



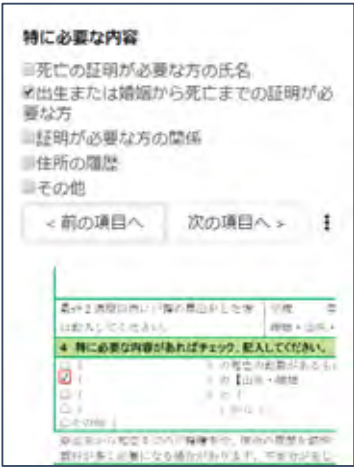
さらなる進化：完全電子申請の実現へ

これまで紹介した製品をさらに進化させ、全自治体・全公的機関で使える完全な電子申請システムを「安く・早く・安全に」実現させたい。
クラウドを活用し、マイナンバーカードの普及の起爆剤となるような画期的なサービスを作るべく開発を進めている。

Graffer 電子申請



質問に答えて必要な手続きを確認



ウェブから必要事項を入力



※電子申請サービスは現在開発・検討中のものであり、提供時期は未定です。製品名等は予告なく変更されることがあります。

市区町村向けサービスにおける課題

- 印鑑の扱い
 - 実印でなければならない手続きはほとんどなく認印で良いため、印鑑では本人確認の要件を満たせない。
 - 第三者が認印を購入し、本人になりすまして手続きをする危険を鑑み、自治体では手続き時に本人確認書類の提示を求めている。
 - しかし、**本人確認書類の提示を求めるのであれば印鑑は不要ではないか**、という矛盾が残ったままである。
- 電子署名の扱い
 - **「電子署名が付与されたPDFファイルは紙の申請書と同等に扱う」**などの明文化規定があるべきではないか。
 - これができれば、マイナンバーカード+スマートフォンで電子署名を活用した電子申請が低コストで実現する。
 - 規定がないと、電子申請を受け付けるかどうかが自治体次第となってしまう、電子申請の普及が遅れる可能性が大きい。
- マイナンバーカードの普及促進
 - 既に政府が打ち出している、健康保険証のマイナンバーカードへの集約や通知カード廃止といった施策を事業者として高く評価。
 - カードが普及すれば、それを活用した様々なサービスを事業者側は開発・提供しやすくなる。
 - 残る主要な問題は、**Apple社のiOS搭載端末にてマイナンバーカードの認証・署名機能が使えない点**。
- マイナポータル(API開放)
 - APIファーストで先に機能を開放すれば、使い勝手については民間事業者の創意工夫により良いものが生まれやすい(e-govが実証)
 - 逆に、どれだけ画面を作りこんで時間をかけても、**UXは短期間で陳腐化しやすい**ため、サービスが負の遺産になりがち。